



● **タングステンリボン**

タングステンとは、硬く加工しにくい材料であり、リボンのような形状に製造することは長年の製造技術のノウハウを必要とします。当社独自の技術を駆使することで、お客様のご要望に合わせ、薄くて長いリボンを様々なサイズでご提供し、医療や電気集塵機器の電極の用途などにご利用いただいております。



KOKORO  
**意style**

第111期第2四半期 報告書

2021年4月1日～2021年9月30日

 **日本タングステン株式会社**

## 企業理念

Our Corporate Philosophy

日本タングステンは、  
世界の人々と従業員の  
明るい未来を実現するために

マテリアルからはじまる価値創造に  
挑戦し続けます。

常にNo.1を目指し、かけがえのない存在で  
あり続けます。

## 行動規範

Our Way

私たちは、情熱を持って、  
失敗を恐れずチャレンジします。

私たちは、当事者意識を持って、  
すぐ行動しやり遂げます。

私たちは、相手の立場になって、  
期待以上で応えます。



### ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く  
お礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の一層の収束  
進展と、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

当期より「日本タングステングループ2024中期経営  
計画(2024中計)」がいよいよ始動いたしました。その  
初年度の当第2四半期において、連結売上高は3期ぶ  
りの増収、営業利益は黒字転換、経常利益及び四半期  
純利益は3期ぶりの増益、というご報告を株主の皆様  
へ行えることを大変嬉しく思います。

2031年の当社創立100周年に向けて、2024中計  
の1st Stageから2nd Stageへと一つひとつの取り組  
み成果を着実に積み重ね、当社グループは企業価値の  
向上を目指してまいります。

今後とも日本タングステングループを何卒よろしくお  
願い申し上げます。

2021年12月

取締役社長 後藤信志

# 増収増益という成果を伴って、 「日本タンブステングループ2024中期経営計画」の 順調なスタートを切ることができました。

**Q** 当第2四半期の決算のポイント等について教えてください。

**売上高は24.6%増の増収、営業利益は黒字転換、  
経常利益は352.3%増の増益となりました。**

当第2四半期における経済環境は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展によって欧米諸国を中心に回復基調で推移し、国内経済は、新型コロナウイルス感染症による影響は残るものの、海外経済の回復等によって持ち直しの動きが見られました。

当社グループの注力市場につきましては、自動車部品市場及び半導体・電子部品市場が好調であり、産業用機器市場も回復基調で推移しました。また、衛生用品・医療用部品市場は、緩やかな回復により低調に推移しました。

これらの結果、当第2四半期の連結売上高は58億65百万円(前年同期比24.6%増)となりました。利益面では、増収効果に加えてコスト削減活動による売上原価率の改善等を図り、営業利益は4億83百万円(前年同期は7百万円の営業損失)、経常利益は6億19百万円(前年同期比352.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億44百万円(前年同期比198.6%増)となりました。なお、第1四半期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等の適用を開始しておりますが、四

半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

**Q** 通期業績予想やその前提となる今後の市況予測についてお聞かせください。

**第3四半期以降の業績も比較的底堅く推移する  
見込みから、通期業績予想を上方修正いたしました。**

当社では、5月20日の2021年3月期決算発表時に公表した通期業績予想を上方修正し、連結売上高115億円(前期比16.2%増)、営業利益9億円(同226.8%増)、経常利益10億円(同55.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益7億50百万円(前期は62百万円の純損失)の達成を目指すことといたしました。

当社の注力市場の足元の動向については、自動車部品市場での半導体不足による生産減少や、衛生用品・医療用部品市場での設備投資の回復の遅れの懸念等はあるものの、引き続き回復基調で推移すると考えております。

また当社グループでは、当期からスタートした「日本タンブステングループ2024中期経営計画」において、前半の2年間を1stステージとし、成長に向けた基盤強化期間と位置づけております。中長期的には中国経済の減速や材料価格の高騰などの不確実性も残る中ではありますが、引き続き、素材工程の収益性改善や歩留まりの改善等による原価

低減に積極的に取り組み、利益率向上・利益体質の強化、さらには適正在庫の管理強化等により、ROE向上を目指してまいります。

## 1st Stage (2021～2022年度)～成長に向けた基盤強化



**Q** 東京証券取引所の新市場区分に対する選択申請状況について教えてください。

**「スタンダード市場」を選択し、申請しました。**  
今後さらなる当社グループの持続的な発展を目指します。

東京証券取引所は、2022年4月4日付けで現在の市場区分を見直し、新市場区分への移行を行うことを予定しております。

当社では、「スタンダード市場」の上場維持基準に適合していることを確認し、10月15日開催の取締役会において「スタンダード市場」を選択し、申請手続きを行う旨を決議し、申請いたしました。

今後、当社グループの持続的な発展に向けて、業績の向上はもとより、株式の流動性の向上や、より高いガバナンスの構築に向けて、全社一体となり、取り組む所存であります。

**Q** 株主還元についてお聞かせください。

**当初中間配当予想から10円増配となる50円の中間配当を実施し、期末配当予想も上方修正いたしました。**

当社の株主の皆様への利益還元につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目安に、新商品開発を推進するための設備・人材・研究などへの戦略的投資、中長期的な企業財務体質の強化等を総合的に勘案しつつ、安定的・継続的な配当に努めております。また、1株当たりの株主価値を向上させるとともに、資本効率の向上を図るため、適宜自己株式の取得に努めております。

上記の方針に基づき、中間配当は、当初予想から10円増配となる1株当たり50円の配当を実施させていただきました。また、期末配当予想につきましては、2022年3月期通期の業績予想値を上方に修正したことにより、当初予想40円から1株当たり50円とすることといたしました。この結果、年間配当予想は1株当たり100円となります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

空気中のほこりやウイルスの抑制に貢献し、安心安全な暮らしを支える

## 空気清浄機器用 タングステンリボン



### ■ コロナ禍で高まる空気の質や換気への関心

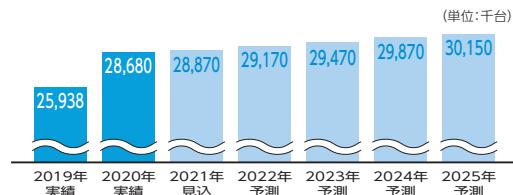
新型コロナウイルス感染症の拡大によって、健康意識の高まりから空調や空気清浄機器の需要が急速に高まっており、この勢いは今後も続くと考えられています。

### ■ 空気清浄機能の仕組みとタングステンリボン

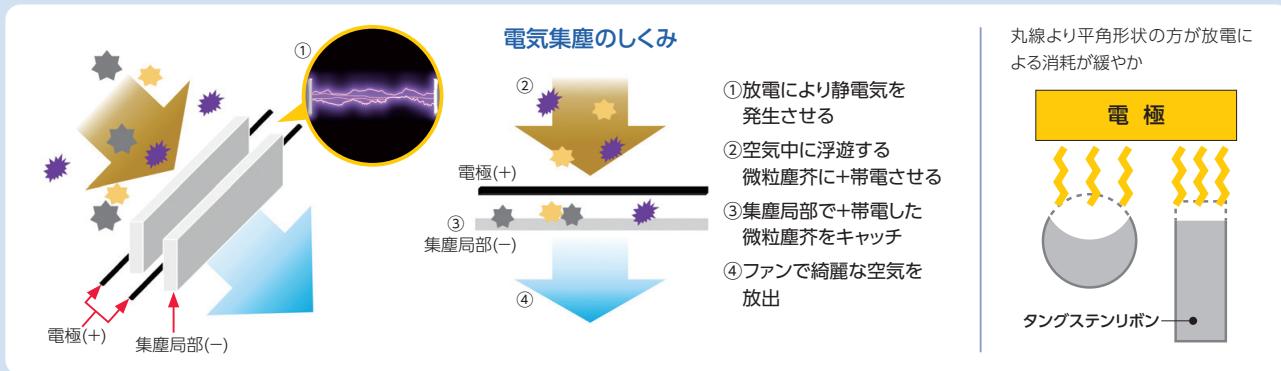
空気清浄の方法は大きく3つあり、フィルターに空気を通し集塵するファン方式、電気力でプラス極に電気を帯びさせ、マイナス極を集塵極として、通ってきた塵を吸着させる電気集塵方式、イオンを放出させウイルスなどの微粒子を無力化させるイオン発生方式があります。

当社タングステンリボンは、エアコンに使用される電気集塵機用の放電電極にご使用いただいております。

空気清浄機 グローバル販売台数の推移



出所:「グローバル家電市場総調査 2021」富士経済



当社タングステンリボンは、高強度なタングステン線が持つ「断線しにくさ」と、リボンという名のとおり、平角な形状による「電極としての消耗の緩やかさ※」を併せ持っており、空気清浄機能のコアとなる電極の長寿命化に寄与しております。

※丸線との比較時

### ■ タングステンの特徴を強みとする商品づくりに取り組み、安心安全な暮らしを支える。

当社は、これからもタングステンの特徴を生かした素材開発力と粉末冶金技術により、空気清浄機器用途をはじめ、お客様の安心安全な暮らしを支える商品づくりに取り組み続け、社会に貢献してまいります。

## 機械部品事業

衛生用品機器市場が低調なものの、半導体・電子部品市場が好調なことや、産業用機器・部品市場も回復基調を維持しながら推移しました。

この結果、機械部品事業の**売上高は前年同四半期比12.6%増の32億4千万円**となり、**営業利益は同156.8%増の5億2千3百万円**となりました。

### 売上高

(単位:百万円)



### セグメント利益

(単位:百万円)



## 電機部品事業

自動車部品市場が好調であり、産業用機器・部品市場も堅調に推移しました。

この結果、電機部品事業の**売上高は前年同四半期比45.6%増の26億8千万円**となり、**営業利益は同498.0%増の2億4千4百万円**となりました。

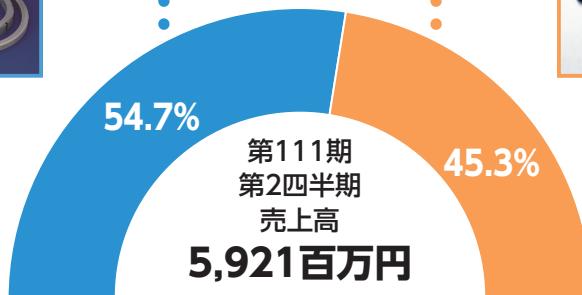
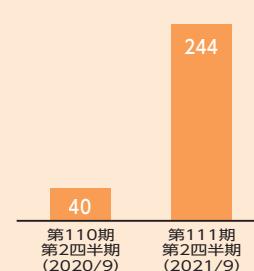
### 売上高

(単位:百万円)



### セグメント利益

(単位:百万円)

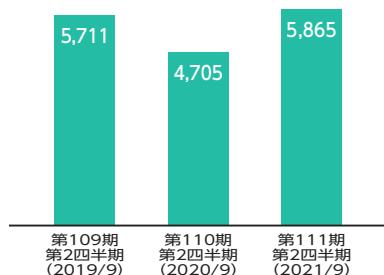


(注)売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額です。

# 業績等の推移

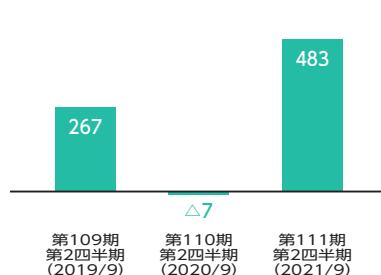
## 売上高

(単位:百万円)



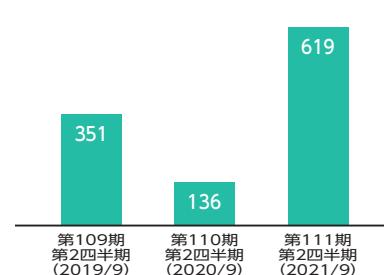
## 営業利益

(単位:百万円)



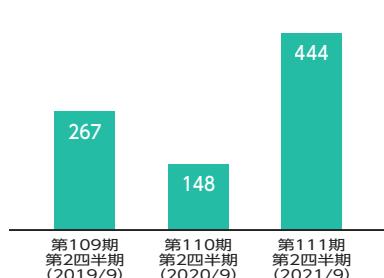
## 経常利益

(単位:百万円)



## 親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位:百万円)



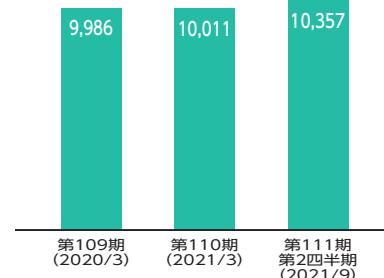
## 総資産

(単位:百万円)



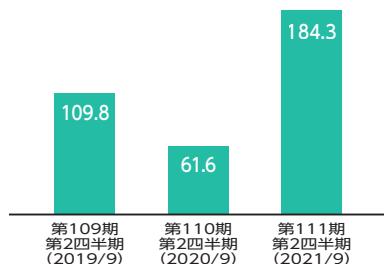
## 純資産

(単位:百万円)



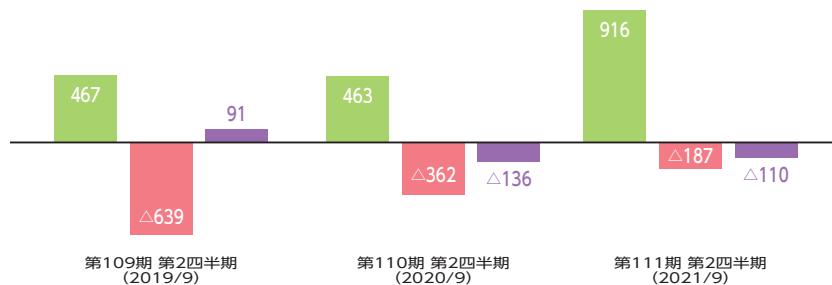
## 1株当たり四半期純利益

(単位:円)



## キャッシュ・フローの状況

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー (単位:百万円)



## ● 会社の概要

2021年9月30日現在

設立	1931年(昭和6年)4月1日
資本金	25億950万円
従業員数	530名(連結)
本社	福岡市博多区美野島一丁目2番8号
事業所	事務所：東京・大阪・刈谷 工場：基山・飯塚・宇美

## 役員 2021年9月30日現在

取締役社長	後藤 信志	代表取締役 社長執行役員
取締役	毛利 茂樹	常務執行役員 事業・開発技術統括責任者 品質保証担当
取締役	大島 正信	執行役員 事業支援本部長 兼 経営企画担当 兼 基山工場長
取締役	山崎 洋	執行役員 経営管理本部長 コンプライアンス担当
取締役	中原 賢治	執行役員 電機部品事業本部長
社外取締役	豊馬 誠	九州電力株式会社 代表取締役副社長執行役員
取締役	今里 州一	監査等委員(常勤)
社外取締役	久留 和夫	監査等委員 久留公認会計士事務所 代表
社外取締役	小田 昌彦	監査等委員
社外取締役	杉原 知佳	監査等委員 三浦・奥田・杉原法律事務所 共同経営弁護士
	原口 寿	執行役員 経営管理本部副本部長 兼 経営管理部長
	味富 晋三	執行役員 機械部品事業本部長

## 関係会社

■ 連結子会社 ● 持分法適用関連会社

国内	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社福岡機器製作所</li> <li>株式会社昭和電気接点工業所</li> </ul>
中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>上海恩梯三義美業发展有限公司</li> </ul>
アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>NIPPON TUNGSTEN USA, INC.</li> </ul>
イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>NIPPON TUNGSTEN EUROPE S.r.l.</li> </ul>
ブラジル	<ul style="list-style-type: none"> <li>NIPPON TUNGSTEN DO BRASIL SOLUÇÕES DE CORTE LTDA.</li> </ul>
タイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>SV NITTAN CO.,LTD.</li> </ul>

## 株主メモ

決算期	3月31日
基準日	定時株主総会、期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要あるときはあらかじめ公告して定めます。
定時株主総会	6月
上場証券取引所	東京(2部)、福岡
証券コード	6998
公告方法	当社のホームページ( <a href="https://www.nittan.co.jp/">https://www.nittan.co.jp/</a> )に掲載します。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社

## ● 株式の状況

2021年9月30日現在

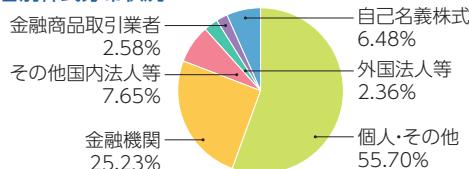
発行可能株式総数	10,000,000株
発行済株式の総数	2,577,760株
単元株式数	100株
株主総数	3,037名

## 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・九州電力株式会社及び九州電力送配電株式会社口)	166,665	6.91
株式会社福岡銀行	107,262	4.45
日本タングステン従業員持株会	94,582	3.92
日本タングステン取引先持株会	79,300	3.29
みずほ信託銀行株式会社	64,300	2.67
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	61,500	2.55
明治安田生命保険相互会社	60,170	2.50
株式会社西日本シティ銀行	50,917	2.11
株式会社佐賀銀行	50,000	2.07
宇部マテリアルズ株式会社	40,000	1.66

- 上記のほか、自己株式を166,947株保有しております。
- 持株比率は自己株式(166,947株)を控除して計算しております。
- 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・九州電力株式会社及び九州電力送配電株式会社口)の持株数166,665株は、九州電力株式会社及び九州電力送配電株式会社から同信託銀行へ信託設定された信託財産であります。信託契約上当該株式の議決権は九州電力株式会社及び九州電力送配電株式会社口が留保しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株式事務手続きに関するお問い合わせ先

### ●証券会社等に口座をお持ちの株主さま

住所・氏名等、届出事項の変更 配当金受取方法の変更 単元未満株式の買取請求 等	お取引の証券会社等までお問い合わせください。
未受領の配当金の お受取について	下記株主名簿管理人(みずほ信託銀行証券代行部)までお問い合わせください。

### ●特別口座をお持ちの株主さま

各種手続き等	下記特別口座管理機関(みずほ信託銀行証券代行部)までお問い合わせください。
--------	---------------------------------------

### 株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

みずほ信託銀行 証券代行部  
☎0120-288-324 (受付時間 土・日・祝日を除く9:00~17:00)